

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・28・29・40	日々の関わりの中で変化に気付き、その都度チームで共有しながら必要とされる対応策を検討し提供しているものの継続性に欠けている。その為、ケアが途切れてしまう事やスタッフ1人1人の経験側によるケアの提供となっており、チームケアの重要性についてや理念・ケア方針への理解を深められるよう働きかける必要がある。	基本的なケアの確実性と共に点でなく面での関わり～チームケアの重要性～を理解すると共に、日々のミニカンファ→実施(記録)→評価→現状にあったケアの提供、という流れが1人1人のスタッフにより自発的に行えるチームとなる。	1)理念・ケア方針の理解 …OJTを捉え具体を示しながら伝えていく 2)ミニカンファ～一連の流れ …日々リーダーの意識付け 気付きをそのままにせず、変化点を捉え次に繋げる。 カンファ時の記録・評価への意識付	12カ月
2	38・41・54・55・56・57	スタッフ一人一人の、“入居者皆さんの生活の場である”という認識が、時に欠けている。その為、共有スペースや各居室をスタッフが乱してしまったり、言動によって入居者の世界や空間を脅かしてしまっている。	”生活の場”であるという共通認識を持ち、入居者の方々にとって、安心のある心地よい環境とスタッフがなれるよう、チームで取り組むことができる	1)理念・ケア方針の理解 …OJTの機会を捉え、何が本人を脅かしているのか、又何故環境整備が必要なのか、具体を示し常に振り返りながら意識付けを行う 2)スタッフも環境の一部である事の意識付け …会議やカンファの場を活かし、課題の抽出～問題提起を繰り返し行い、トップダウンではなく一人一人が課題意識を持ちお互いに改善に導けるよう取り組んでいく 3)入居者を大事に思う事の表れであるという部分の理解に繋がれるよう繰り返し問題提起していく …環境整備→仕事(業務)の効率UP=関わりの時間の確保に繋がっていく …入居者を大事に思う事→入居者の大事な物も大事=私物や居室等、間接支援も丁寧に出るようになる	6カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54 55 57	ふぁみりえは入居者の皆様が主体者である。という認識のもとにホールや小居間などの共有スペースを中心に整理整頓、環境改善に取り組んできたが、必要以上に椅子が並べあつたり、車椅子が何台も置いてある。小居間は、不必要な物や洗濯物であふれており、快適性や安全面を考えると入居者主体の「生活の場」という環境にないのが現状である。	主体者である入居者の皆様が生活する場所である。という事を各スタッフが認識し、共有スペースの環境面・安全面と同時に快適性が保てるよう取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止及び移動に使用される手摺の周辺には物を置かず動線を確保する。 ・各入居者が使用されるソファの使い勝手や臭いなど快適さに心掛ける。(消臭剤・天日干しなど) ・各小居間を日頃から利用出来る様に安全面・環境面から整える。 ・毎月の定例ユニット会議で議題にあげ、改善策を継続していく。 	12ヶ月
2	22 26 27 31 40 50 51	日々のケア、業務にだけで一日が終わる事が多く、入居者の皆様お一人おひとりの趣味や嗜好、楽しみ事が日々の生活の中にある支援まで至ってないのが現状である。	入居者の皆様にとって一日一日が楽しく、又その人らしさやお持ちの力が発揮出来る場面が日々の中にあり、皆様が生き生きと主体となって生活を送ることが出来るよう、ケアの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフがお一人おひとりの人生史、生活習慣、趣味、嗜好をしっかりと把握し、日々のケアに取り入れる。 ・ご家族の協力のもと、外出する機会、大切な人と会う機会を支援していく。 ・各スタッフが課題と目標に基づき、入居者の皆さんのケアプランを見直し、状態の変化に応じた楽しみ事を提供し、日々の充実をはかる。 	12ヶ月
3	8 21 22 51 53	職員の異動状況がぎりぎりでないといけない事もあり、遠方のご家族等に報告するのが遅くなったりしている。権利擁護に関する制度説明は、家族会に行ったり、尋ねられたご家族には行っているが、参加されていないご家族に説明が出来ていない。ご家族からのアンケート結果でも出来ていない・不十分だと感じられている。	離れて暮らしておられ、日常安心した生活を送れているか心配されているご家族へ、入居者の皆様を共に支えていく関係作りを行い、入居者・家族・職員一体となり共有し、入居者お一人おひとりのサービスの満足度をあげていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふぁみりえ通信(ユニット通信)を定期的に発行し、日常の様子やイベントの紹介、ふぁみりえの職員の異動や行事の紹介などを行っていく。 ・権利擁護に関する制度の説明会を家族会を通して行っていく。また、家族会に来られなかったご家族へ、家族会の様子や内容の報告を行っていく。 ・外出など本人の希望をもとに、ご家族と協力しながら行っていく。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	日々記録にはお一人おひとりの1日の様子を記録しており、当日に対応していない職員も内容を共有出来るように努めているが、実施の介護計画の内容との連動まで記入できていない事も多い。	職員一人ひとりがしっかりと介護計画の内容を汲み取り、実施し、介護計画の実施状況を日々記録に残し、今以上に後の評価、カンファレンスに役立てる事が出来る。	カーデックスの導入。 カーデックスを使用し、常に介護計画書が目に触れる状況を作り、日々記録を残す、また日々の申し送りを行う事で、入居者お一人ひとりの介護計画を今まで以上に把握、常に念頭に置く事により、介護計画に沿ったケアができる様にする。	6ヶ月～
2	38・41	入居者へのお声掛けには気がけているが、時には、声の大きさやトーンなどで不快に感じられたり(しているのではないだろうか?)、または排泄の事など、入居者のプライバシーを損ねるような対応、声掛けをしている事がある。食後の食べこぼしやそれによる衣服や床の汚れ、また起床ケアでの髭剃りなどに配慮にかけ、十分に行えていない事がある。	ホールで働く職員もまた”環境”の一つであるということを認識し、言動(声の掛け方やプライバシーの配慮、また足音や生活音など)に気掛け注意し、支援を行っていく。	・食べこぼしや身だしなみなどに配慮しているか？ ・お声掛けや足音などの生活音には気をつけているか？ ・トイレや居室のドアを開けっぱなしにしているか？ など、職員同士で気になる事をユニット会議などで定期的に話し、お互いに注意喚起を促していく。	6～12ヶ月
3	21	遠方のご家族などへの入居者の報告等が十分でないことがあり、日々をどう過ごされているか不安に思われる事があるのではないかと、思う。	入居者の日々の暮らし方や様子、表情などの報告や、今後のケア方針などの連絡を密に行うことで、ご家族と職員が入居者を共に支えあう関係を深める事が出来る。	・ご家族が来家の際には十分に近況報告を行う。遠方のご家族へは急変時の報告に関わらず、電話や手紙、写真での日頃の様子(調理やサロン活動での活躍の場)の報告を行う。 ・ユニット通信の定期的な発行を行い、入居者の日々の暮らしの様子やユニットのこと、今後の活動予定、イベントへの参加のお声かけを行っていく。	6ヶ月～

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。